

プラズマ・核融合学会誌

第96巻第11号

2020年11月

解説	PHENIX プロジェクトにおける中性子照射タンゲステン材の熱拡散率測定	秋吉 優史	645
小特集	MHz 帯電磁波によるプラズマ加熱物理の進展 ～高密度運転への道～		
	1. はじめに	笠原 寛史	651
	2. TST-2 における MHz 帯電磁波による波動加熱実験	高瀬 雄一	655
	3. Heliotron J における MHz 帯電磁波による波動加熱実験	岡田 浩之	660
	4. LHD における MHz 帯電磁波による波動加熱実験		
	関 哲夫, 斎藤 健二, 神尾 修治, 笠原 寛史	665	
	5. TASK-WM や AORSA を用いた MHz 帯電磁波による 波動加熱シミュレーション	關 良輔, 辻井 直人	669
	6. まとめ	武藤 敬, 笠原 寛史	674
講座	宇宙機用電気推進機のための計測法		
	1. はじめに	桑原 大介	677
	2. 宇宙機用電気推進機のためのプローブ計測	渡邊 裕樹	680
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			
インフォメーション			688
	ITER だより(84)		689
本会記事			692
	【こちら編集委員会です】発表！2020年上半期の学会誌（1～6月号）でもっとも多くダウンロードされた記事はこちら！		
編集後記			

表紙の絵

大型直線装置 GAMMA 10/PDX のダイバータ模擬実験モジュール内 V 字ターゲットを高速カメラで撮影した可視光 2 次元イメージ。上流に ECH を印加して過渡現象を観測している。(a) ECH 印加中、放射冷却ガス (Xe) 流量が少ない場合（上段）は接触プラズマで、ターゲット前面全体が発光しているが、非接触プラズマの場合（下段）、V 字コーナーに発光が局在化している。(b) ECH の無い時間帯では発光強度は低く、非接触プラズマでは更に光量が下がっている。(Md. Shahinul ISLAM *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 15, 1402074 (2020) <http://www.jspfor.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません（社外頒布用の複写については許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp
複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。